

建設工事等の契約の内容に係る情報の公表

※契約締結日の属する年度の次年度以降に、契約金額の変更を伴う契約の変更を行った案件について掲載しています。

発注機関: 揖斐土木事務所

工事(委託)番号	工事(業務)名	施工場所	工事(業務)種別	契約の相手方の商号又は名称	契約の相手方の住所	契約締結日(変更契約締結日)	施工(履行)期間	契約金額(円)	工事(業務)概要	変更理由	変更回数
第砂委砂長A号	公共 総合流域防災事業(砂防設備長寿命化) 砂防施設点検業務	普通河川 滝谷川他 揖斐郡 大野町 大字寺内他	河川	(株)興栄コンサルタント	岐阜県岐阜市中鞆4-11	平成30年5月31日	平成30年5月31日～平成31年3月20日	12,312,000	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=18.1km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=47基 施設の健全度評価 N=13溪流	—	(当初)
						平成31年2月14日	平成30年5月31日～平成31年3月28日	13,153,320	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=19.6km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=49基 施設の健全度評価 N=14溪流	砂防修繕計画を立てるにあたり、事前調査及びカルテ作成を本委託にて行いたい。	1回目
						令和元年10月23日	平成30年5月31日～令和元年10月31日	13,789,120	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=20.2km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=56基 施設の健全度評価 N=16溪流	現地調査の結果、砂防設備台帳に記載の無い施設が確認されたため、契約数量を変更したい。	4回目
第砂委砂長B号	公共 総合流域防災事業(砂防設備長寿命化) 砂防施設点検業務	普通河川 木曾屋川他 揖斐郡 揖斐川町 谷汲木曾屋他	河川	(株)興栄コンサルタント	岐阜県岐阜市中鞆4-11	平成30年5月31日	平成30年5月31日～平成31年3月20日	12,528,000	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=18.8km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=50基 施設の健全度評価 N=11溪流	—	(当初)
						平成31年2月14日	平成30年5月31日～平成31年3月28日	12,637,080	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=18.8km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=50基 施設の健全度評価 N=11溪流 砂防えん堤カルテ作成 N=1基	最近完成した砂防堰堤において、今後の維持管理上カルテが必要となるため、作成業務を追加したい。	1回目
						令和元年10月23日	平成30年5月31日～令和元年10月31日	13,917,480	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=22.3km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=25基 施設の健全度評価 N=12溪流 砂防えん堤カルテ作成 N=1基	現地調査の結果、砂防設備台帳に記載の無い施設が確認されたため、契約数量を変更したい。	4回目
第砂工雪崩1号	公共 総合流域防災事業(雪崩対策事業)	正金地 揖斐郡 揖斐川町 春日春六	土木一式	加藤建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町春日小宮神1158-1	平成30年7月20日	平成30年7月20日～平成31年3月21日	37,260,000	施工延長 L=35m 雪崩予防柵工 L=35m H=2.2m	—	(当初)
						平成31年2月13日	平成30年7月20日～平成31年3月28日	40,775,400	施工延長 L=50m 雪崩予防柵工 L=50m H=2.2m	先行工事により資材購入した雪崩予防柵を使用して施工を行い、事業を推進したい。 本工事による資材購入と合わせ、施工基数を10基としたい。	1回目
						令和元年10月28日	平成30年7月20日～令和元年10月31日	40,985,500	施工延長 L=50m 雪崩予防柵工 L=50m H=2.2m	雪崩予防柵設置箇所において、雪崩抑制効果が期待される高木が生えていたため、設置箇所の変更を行いたい。	4回目

第建工道改3-3-1号	県単 道路新設改良(債務) 道路改良工事	主要地方道 春日揖斐川線 揖斐郡 揖斐川町 春日美東(白川工区)	土木一式	加藤建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町春日小宮神1158-1	平成30年8月3日	平成30年8月3日~令和元年5月9日	47,412,000	道路改良 L=34m W=4.0(5.0)m 土工 片切掘削(中硬岩) V=1490m ³ 法面工 コンクリート吹付工(t=15cm) A=411m ²	-	(当初)
						令和元年10月15日	平成30年8月3日~令和元年11月21日	51,689,900	道路改良 L=34m W=4.0(5.0)m 土工 片切掘削(中硬岩) V=1430m ³ 岩掘削(静的破砕材)V=67m ³ 法面工 コンクリート吹付工(t=15cm) A=511m ² ロープ伏工 N=1.0式	○立木伐採及び斜面掘削後に山腹等を踏査したところ、新たに転石等が確認された。 このため通行車両等の安全を図る為、転石等の崩壊を防止するロープ伏工N=1式(35m ²)を増工したい。 また既設施設等の現状を確認し検討するため現地調査N=1式を計上したい。 ○山腹露岩を掘削してきたが一部当初設計以上の硬度を有する岩が確認された。 このため当初計画の掘削では岩掘削が困難なため、静的破砕材を使用して岩掘削を進めたい(静的破砕材)67m ³ を増工したい。 ○現地踏査の結果、地山斜面の起伏等に合わせたコンクリート吹付A=100m ² 、P式ネット84m ² を増工し、通行車両の安全を図るため増工したい。	4回目
第建工道改3-7-2号	県単 道路新設改良(一般分)	一般国道 303号揖斐郡 揖斐川町 坂内坂本地内	土木一式	(株)久保田工務店	岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪521-1	平成30年9月14日	平成30年9月14日~平成31年3月20日	30,240,000	施工延長 L=118.0m 残土処理ヤード造成 排水構造物工 小段排水 BF-300 L=112m 地下排水工 高耐圧ポリエチレン管φ300 N=1式(L=406m)	-	(当初)
						平成31年2月14日	平成30年9月14日~平成31年3月20日	25,315,200	施工延長 L=118.0m 残土処理ヤード造成 排水構造物工 小段排水 BF-300 L=112m 地下排水工 高耐圧ポリエチレン管φ300 N=1式(L=416m)	○本工事によって発生する残土については、当初、受入を希望する他工事への流用する予定であったが、工程の調整が困難となったため、現場内で処理したい。	1回目
						令和元年5月24日	平成30年9月14日~令和元年5月31日	28,841,400	施工延長 L=115.7m 残土処理ヤード造成 排水構造物工 小段排水 BF-300 L=110m 地下排水工 高耐圧ポリエチレン管φ300 N=1式(L=416m)	○地下排水工の施工にあたり、既設の地下水路(谷からの水を排水)に接触することが判明したため、撤去する必要が生じたが、その構造を調査したところ、一連の区間でコンクリートブロック積の上部に枕木や鉄板を掛けただけの不安定な構造であった。 当該箇所においては、トンネル残土が半永久的に盛土される計画であることを考慮し、地下排水工に高耐圧ポリエチレン管を採用しているため、既設地下排水路の撤去後、高耐圧ポリエチレン管を敷設したい。	4回目
第建工街路9-1号	県単 街路事業 道路改良工事	(都)大野揖斐川線揖斐郡 大野町 大字相羽~六里	土木一式	(株)山辰組	岐阜県揖斐郡大野町大字福畑203-1	平成30年9月14日	平成30年9月14日~平成31年3月20日	63,180,000	H30年度施工延長 L=164.9m W=6.5(18.0)m 道路土工 掘削 V=350m ³ 路床盛土 V=670m ³ 擁壁工 プレキャストL型擁壁工(H=0.8~3.5m) L=124.7m 排水構造物工 PU2側溝(300×300) L=170m 函渠工 (H=2.5m, W=3.0m, L=19.18m) N=1式 附帯工 農業用バイブライン布設替工 L=117.6m(φ100~φ150)	-	(当初)
						平成31年3月22日	平成30年9月14日~平成31年3月29日	61,824,600	H30年度施工延長 L=164.9m W=6.5(18.0)m 道路土工 掘削 V=660m ³ 路床盛土 V=1200m ³ 擁壁工 プレキャストL型擁壁工(H=0.8~3.5m) L=129.9m 排水構造物工 PU2側溝(300×300) L=93m 函渠工 (H=2.5m, W=3.0m, L=19.18m) N=1式 附帯工 農業用バイブライン布設替工 L=117.6m(φ100~φ150)	○函渠工の踏み掛け版、側溝・転落防止柵の施工は、上部工の架設をする際に影響があるため不施工とした。 ○盛土の材料を揖斐川町長良地内から運搬する土砂(トンネル掘削土)とし、仮置場からの運搬を行いたい。 ○本工事と近接するH29 第建工街3-A6-2号は、同一業者が受注したため諸経費について合算して積算したい。	3回目
						令和2年2月27日	平成30年9月14日~令和2年3月23日	64,824,300	H30年度施工延長 L=110.9m W=6.5(18.0)m 道路土工 掘削 V=500m ³ 路床盛土 V=1000m ³ 擁壁工 プレキャストL型擁壁工(H=0.8~3.5m) L=128.7m 排水構造物工 PU2側溝(300×300) L=84m 函渠工 (H=2.5m, W=3.0m, L=19.18m) N=1式 附帯工 農業用バイブライン布設替工 L=107.1m(φ100~φ150)	○取付道路路排水計画精査の結果、横断側溝を増工したい。(2箇所 L=9m) ○土工において掘削を行ったところ、発生する残土290m ³ について路床土として適さないことから、処理場において処分を行いたい。	7回目

第建工街路3-A6-1号	公共 街路事業(債務) 橋梁上部工工事	(都)大野揖斐川線揖斐郡 大野町 大字六里 地内	鋼構造物	(株)角藤 中津川営業所	岐阜県中津川市手賀野422-1	平成30年9月25日	平成30年9月25日~令和元年12月18日	216,000,000	橋梁上部工(単純鋼コンクリート合成床版橋)工事 橋長L=31.70m 幅員W=18.0m(8.0m) 上部工製作・架設工 W=192.2t 床版工 N=1式 橋梁付属物工 N=1式 舗装工 N=1式	-	(当初)
						令和元年11月25日	平成30年9月25日~令和元年12月18日	213,265,440	橋梁上部工(単純鋼コンクリート合成床版橋)工事 橋長L=31.70m 幅員W=18.0m(8.0m) 上部工製作・架設工 W=192.2t 床版工 N=1式 橋梁付属物工 N=1式 舗装工 N=1式	○トラッククレーン供用日数について、歩掛精査の結果、休日補正を考慮し15日としたい。 (当初 13日) ○高欄部材について、設計内容精査の結果、部材費用が二重計上となっていたため、訂正したい。 ○高欄部材延長について、図面精査の結果、ウイング部設置延長を訂正したい。 (ウイング部を含む全体延長 73.5m(当初78.1m))	2回目
第砂工通砂3-2号	公共 防災・安全交付金(通常砂防事業)	北洞谷 揖斐郡 揖斐川町 谷汲深坂	土木一式	西建産業(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町腰永1645-1	平成30年9月28日	平成30年9月28日~平成31年3月20日	43,794,000	北洞谷 土工置換工 V=600m3 本堤工 H=0.0m, L=13.5m, V=454m3	-	(当初)
						平成31年2月21日	平成30年9月28日~平成31年3月28日	45,879,480	北洞谷 土工置換工 V=600m3 本堤工 H=0.0m, L=21.1m, V=575m3	現場の再調査の結果、工事用道路で大型車の通行が可能であることが判明したため、運搬車両を大型車に変更したい。また、左岸側の掘削面の安定を計るため、本堤左岸のコンクリート工を増工したい。	1回目
						令和元年9月24日	平成30年9月28日~令和元年9月30日	46,508,680	北洞谷 土工置換工 V=0m3 本堤工 H=0.0m L=23.8m V=894m3	平板載荷試験を行った結果、最大地盤反力が設計値を満たしていたため、置き換え工を不施工としたい。この結果を受け、コンクリート量を増工したい。	4回目
第河工局改27号	県単 河川局部改良事業(債務)	木曾川水系 桂川 揖斐郡 揖斐川町 桂	土木一式	西濃建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町上ミ野128	平成30年9月21日	平成30年9月21日~令和元年8月1日	58,320,000	施工延長 L=74.8m 護岸工 連結空積ブロック(左岸 L=74.8m, 右岸 L=74.8m) SL=1.2m A=180m2 矢板工 N=250枚	-	(当初)
						平成31年4月16日	平成30年9月21日~令和元年8月1日	60,384,960	施工延長 L=74.8m 護岸工 連結空積ブロック(左岸 L=74.8m, 右岸 L=74.8m) SL=1.2m A=180m2 矢板工 N=250枚	当初想定箇所では受け入れができない土質であったため、残土処分先を変更したい。	3回目

第砂工砂修5号	県単 砂防修繕	普通河川 東前の谷 揖斐郡 揖斐川町 東杉原地内	土木一式	西建産業(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町 鯉永1645-1	平成30年9月28日	平成30年9月28日～平成31年3月20日	32,562,000	東前の谷(23) 本堤補修工 H=9.0m V=119m ³	—	(当初)
						平成31年3月22日	平成30年9月28日～令和元年7月31日	35,665,920	東前の谷(23) 本堤補修工 H=9.0m V=119m ³	起工測量の結果に基づき、土工及び工事用道路土工について変更したい。	2回目
						令和元年7月22日	平成30年9月28日～令和元年7月31日	34,220,880	東前の谷(23) 本堤補修工 H=9.0m V=112m ³	壁面清掃後の状況確認結果により、堰堤補修工の施工範囲を変更したい。	3回目
第建用委道改3-12-B号	県単 道路新設改良(一般分)事業 用地測量及び物件調査業務	一般県道 根尾谷汲大野線 揖斐郡揖斐川町 谷汲高科地内	測量	(株)イビソク	岐阜県大垣市築捨町 3-102	平成30年9月6日	平成30年9月6日～平成31年3月20日	16,848,000	用地測量 L300m × W 90m = 27,000m ² 面積測量 20,000m ² 木造建物調査 14棟 付帯工作物調査 7戸 独立工作物調査 3箇所	—	(当初)
						令和元年8月27日	平成30年9月6日～令和元年8月30日	19,675,440	用地測量 L300m × W 90m = 27,000m ² 面積測量 20,000m ² 木造建物調査 14棟 付帯工作物調査 7戸 独立工作物調査 3箇所	県単 道路新設改良(一般分)事業 一般県道根尾谷汲大野線工事に必要となる丈量測量及び物件調査に差異が生じたため	5回目
第砂工砂修6-緊土2号	県単 砂防修繕・県単 緊急土石流対策砂防事業	普通河川 大津谷 揖斐郡 池田町 宮地地内	土木一式	第一建設(株)	岐阜県揖斐郡池田町 段29-3	平成30年9月28日	平成30年9月28日～平成31年3月20日	18,630,000	大津谷 表面保護工 A= 65m ² 除石工 V=1,500m ³	—	(当初)
						令和元年6月6日	平成30年9月28日～令和元年6月20日	19,687,320	大津谷 表面保護工 A= 66m ² 除石工 V=1,500m ³	堰堤補修工の表面保護工において、詳細調査により修復厚さに差異が生じたため変更したい。	3回目

第建工街路9-2号	県単 街路事業 道路改良工事	(都)大野揖斐川線揖斐郡 大野町 大字六里地内	土木一式	(株)山辰組	岐阜県揖斐郡大野町 大字稲畑203-1	平成30年9月28日	平成30年9月28日～平成31年3月20日	51,732,000	H30年度施工延長 L=242.0m W=6.5(18.0)m 道路土工 機械掘削 V=280m3 路体盛土 V=390m3 路床盛土 V=620m3 擁壁工 プレキャストL型擁壁工(H=1.8~3.25m) L=60.2m 排水構造物工 PU2・3側溝(300×300) L=62m 舗装工 車道部 A=1090m2	-	(当初)
						平成31年3月22日	平成30年9月28日～平成31年3月29日	51,460,920	H30年度施工延長 L=146.3m W=6.5(18.0)m 道路土工 機械掘削 V=500m3 路体盛土 V=350m3 路床盛土 V=580m3 擁壁工 プレキャストL型擁壁工(H=1.8~3.25m) L=45.4m 排水構造物工 PU2・3側溝(300×300) L=62m 舗装工 車道部 A=1100m2	○坂路取付部(No32付近)において、当初は本線と河川側から乗り入れる計画をしていたが、地権者との協議により乗り入れ箇所を河川側のみとし、官民境にはL型擁壁を可変勾配側溝へ変更したい。 ○施工打合せ時における現場との不一致について提出があったため、既に完成している箇所の減工を行いたい。 ○路床盛土について土量が不足することから、他工区で発生した仮置土を安定処理工により改良して盛土したい。	3回目
						令和元年7月17日	平成30年9月28日～令和元年7月31日	54,667,440	H30年度施工延長 L=146.3m W=6.5(18.0)m 道路土工 機械掘削 V=500m3 路体盛土 V=350m3 路床盛土 V=580m3 擁壁工 プレキャストL型擁壁工(H=1.8~3.3m) L=49.4m 排水構造物工 PU2・3側溝(300×300) L=63m 舗装工 車道部 A=1166m2	○車道舗装において、供用開始に向けて、表層工(t=5cm)を追加して施工したい。 ○本線及び取付道路において、現地確認を行った結果、安全対策として車止めポスト・視線誘導標等の施設を施工したい。	5回目
第建工道改3-1-1号	県単 道路新設改良道路改良工事	一般県道 川合垂井線 揖斐郡 揖斐川町 春日川合地内	土木一式	加藤建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町春日小宮神1158-1	平成30年9月28日	平成30年9月28日～平成31年3月20日	14,634,000	H30年度施工延長 L=165.9m W=5.5(7.0)m 落石対策工 落石防護柵工(H3.0m) L=36m コンクリート基礎工 L=36m 落石防護柵工(H2.5m) L=15m コンクリート基礎工 L=16m 軽石除去工 V=5m3 舗装工 舗装工 A=133m2 ブルーピング工 A=792m2	-	(当初)
						令和元年5月8日	平成30年9月28日～令和元年5月15日	15,977,520	H30年度施工延長 L=159m W=5.5(7.0)m 落石対策工 落石防護柵工(H3.0m) L=36m コンクリート基礎工 L=36m 落石防護柵工(H2.5m) L=15m コンクリート基礎工 L=16m 軽石除去工 V=5m3 舗装工 舗装工 A=159m2 ブルーピング工 A=731m2	○落石防護柵設置について、当地域は積雪量の多い地域であることから、落石防護柵の破損防止のための上弦材を追加して施工したい。	3回目

第維工交安 31-A004-1号	公共 交通安全施設等 整備事業費	一般県道 藤橋池田線 他 揖斐郡 揖斐川 町 小島 他 地内	土木一式	(有)瀬川工務店	岐阜県揖斐郡揖斐川 町白樫391	平成30年9月25日	平成30年9月25日～ 平成31年3月20日	15,876,000	小島工区 施工延長 L=81.6m W=5.5(9.25)m 舗装工 路盤工 A=185m2 函渠工 2号函渠継足工 N=1式 排水工 PU3-300×300L=45m BF-350 L=12m 可変側溝 L=25 m 台付管D300 L=10m BOX450×450 L=1m 集水樹工 N=3箇所 擁壁工 L型擁壁工(H=2000)L=12m 三輪工区 施工延長 L=52m W=4.0(8.0)m	-	(当初)
						平成31年3月22日	平成30年9月25日～ 令和元年6月30日	15,942,960	小島工区 施工延長 L=81.6m W=5.5(9.25)m 舗装工 路盤工 A=185m2 函渠工 2号函渠継足工 N=1式 排水工 PU3-300×300L=41m BF-350 L= 8m 可変側溝 L=25 m 台付管D300 L=10m BOX450×450 L=1m 集水樹工 N=3箇所 擁壁工 L型擁壁工(H=2000)L= 2m 三輪工区 施工延長 L=21m W=4.0(8.0)m	(1)オ 用地条件や地元との協議に基づく場合 ・小島工区において、本工事の道路幅に伴う排水路(2号函渠工)の継足しにより支障となる田んぼへの取込みゲートについて、当初既存ゲートを撤去したうえで、田んぼ側の修水樹に簡易的な落とし込みゲートを設置することとしていたが、地元と協議したところ現況ゲートを撤去すると、ゴミ等が流入する恐れがあると難色を示され、現況位置でのゲート設置の要望を受けたことから、本設計書のとおり取込みゲートを撤去新設したい。 ・三輪工区において、用地買収及び移転補償が完了する見込みがある箇所において、道路排水工を先行施工することとしていたが、地権者の移転作業が予定よりも大幅に遅延することが判明したため、その区間においては、本設計書のとおり不施工としたい。 ・上記変更理由及び支障電柱移転作業が遅延したことに伴い、工期を平成31年6月30日まで延期したい。	2回目
						令和元年7月31日	平成30年9月25日～ 令和元年8月9日	19,332,000	小島工区 施工延長 L=84.0m W=5.5(9.25)m 舗装工 路盤工 A=197m2 函渠工 2号函渠継足工 N=1式 排水工 PU3-300×300L=40m BF-350 L= 8m 可変側溝 L=27 m 台付管D300 L=11m BOX450×450 L=1m 集水樹工 N=3箇所 擁壁工 L型擁壁工(H=2000)L= 2m 三輪工区 施工延長 L=21m W=4.0(8.0)m	(1)エ 安全対策に基づく場合 ・小島工区における本工事にて拡幅した暫定施工区間について、当初土木事務所からの支給品(単管/バリケード等)による締切で施工する予定であったが、本路線は大型車交通量が多いこと、また暫定施工区間内に家屋が隣接し、侵入道路も存在することから、本設計書の通り車両の衝突にも耐えうる構造の防護柵(置基礎Gr)に変更し、道路利用者及び近隣住民の安全を図りたい。 (2)オ 建設廃材及び建設発生土の数量、処理方法、処理場の変更等による場合 ・小島工区にて発生する掘削残土について、当初は前年度同様に砂利組合が管理する陸砂利埋立地にて処分する予定としており、仮置き場より搬出しようとしたところ、砂利組合より想定以上耕土の割合が大きく土質状況が悪い(第3～4種程度)こと、埋立地が仕上げ段階であることから、受入れ出来ないとの回答があった。その他の陸砂利埋立地等についても照会を行ったが、近隣に受け入れ可能な箇所が存在しないことから、第4種建設発生土の受け入れが可能な処分場(岐阜市須賀地内)にて処分することとした。	4回目
第維委48-A2 -BR-3-B2 号	公共 防災・安全交付 金(トンネル・橋梁点検 調査)(債務)委託	一般国道 303号 他 揖斐郡 揖斐川町 西 津波 他	鋼構造	(株)三進	岐阜県大垣市二葉町 7-12	平成30年9月27日	平成30年9月27日～ 令和元年12月20日	13,608,000	15m以上橋梁点検 17橋 第三者被害予防措置 A=360m2 床版内部調査 1橋	-	(当初)
						平成31年3月25日	平成30年9月27日～ 令和元年12月20日	15,561,720	15m以上橋梁点検 19橋 第三者被害予防措置 A=360m2 床版内部調査 1橋	現地踏査に基づき点検方法・交通規制を検討した結果により、規制点検数量を変更したい。	1回目
						令和元年11月15日	平成30年9月27日～ 令和2年2月28日	15,695,920	15m以上橋梁点検 16橋 第三者被害予防措置 A=360m2 床版内部調査 1橋	(2)ク ・現地踏査に基づいた点検方法・交通規制を検討結果により、規制数量を見直したところ増額となったため、点検箇所数を減らしたい。 ・現地調査の結果、4橋分について維持管理に必要な情報収集を行う点検業務Bに変更したい。	2回目

第維委48-A2- BR-3-B1 号	公共 防災・安全交付 金(トンネル・橋梁点検 調査)(債務)委託	一般国道 303号 他 揖斐郡 揖斐川町 東 横山 他	鋼構造	(株)三進	岐阜県大垣市二葉町 7-12	平成30年9月28日	平成30年9月28日~ 令和元年12月20日	15,660,864	15m以上橋梁点検 18橋	—	(当初)
						平成31年3月25日	平成30年9月28日~ 令和元年12月20日	18,651,600	15m以上橋梁点検 17橋	現地調査を基に点検計画の再検討を行った結果により、交 通規制数や、点検方法を変更したい。	1回目
						令和元年11月15日	平成30年9月28日~ 令和2年3月10日	18,414,000	15m以上橋梁点検 13橋	(2)ク 現地調査を基づいた点検方法・交通規制の検討結果によ り、規制数量を変更したい。 橋脚の近接目視点検に橋梁点検車BT400を使用する箇所 が多くなったため、点検箇所数を4橋減らしたい。	2回目
第砂委砂長E 号	公共 総合流域防災事 業(砂防設備長寿命 化) 砂防施設点検	普通河川 月尾谷他 揖斐郡 揖斐川町 小 津 他	河川	(株)興栄コンサルタント	岐阜県岐阜市中鶯4- 11	平成30年10月25日	平成30年10月25日 ~平成31年3月20日	19,332,000	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=21.5km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=65基 施設の健全度評価 N=50渓流	—	(当初)
						令和元年10月23日	平成30年10月25日 ~令和元年10月31日	18,628,920	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=19.5km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=83基 施設の健全度評価 N=50渓流	現地調査の結果、砂防設備台帳に記載の無い施設が確認 されたため、契約数量を変更したい。	4回目
第砂委砂長F 号	公共 総合流域防災事 業(砂防設備長寿命 化) 砂防施設点検	普通河川 ナンノ谷他 揖斐郡 揖斐川町 坂 内川上 他	河川	(株)興栄コンサルタント	岐阜県岐阜市中鶯4- 11	平成30年10月25日	平成30年10月25日 ~平成31年3月20日	20,412,000	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=23.2km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=58基 施設の健全度評価 N=51渓流	—	(当初)
						令和元年10月23日	平成30年10月25日 ~令和元年10月31日	19,409,760	砂防設備(溪流保全工)調査・点検業務 護岸工現地調査 L=22.5km 床固工・帯工・水制工(簡易点検) N=27基 施設の健全度評価 N=50渓流	現地調査の結果、砂防施設台帳に記載の無い施設が確認 されたため、契約数量を変更したい。	4回目
第砂工河災42 号	公共 河川災害復旧事 業(債務)	一級河川 木曾川水系 深町川 揖斐郡 池田 町 八幡地内	土木一式	(株)矢野建材建設	岐阜県揖斐郡池田町 市橋882-1	平成30年10月30日	平成30年10月30日 ~平成31年4月20日	8,532,000	復旧延長 L=14.0m(右岸L=14.0m 左岸L=6.4m) 護岸工 練ブロック張工 右岸 L=13.4m SL=4.0m A=53m2 左岸 L= 5.8m SL=4.0m A=23m2 小口止工 N=4箇所 雑工(練ブロック張工) N=4箇所 工事用道路(W=3.3m) L=123.5m 大型土のう工 N=8袋 仮排水管φ600 L=31m	—	(当初)
						平成31年4月16日	平成30年10月30日 ~平成31年4月20日	7,513,560	復旧延長 L=14.0m(右岸L=14.0m 左岸L=6.4m) 護岸工 練ブロック張工 右岸 L=13.4m SL=4.0m A=53m2 左岸 L= 5.8m SL=4.0m A=23m2 小口止工 N=4箇所 雑工(練ブロック張工) N=4箇所 工事用道路(W=3.3m) L=123.5m 大型土のう工 N=8袋	既設ブロックの形状が設計と異なっていたため、現状に合わ せ、ブロック取り壊し数量を変更したい。	1回目

第砂工河災41・砂工砂災43号	公共 河川災害復旧事業・砂防設備災害復旧事業(償債)	一級河川 高知川他 揖斐郡 揖斐川町 小津地内	土木一式	揖斐昭和建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町上南方1896-1	平成30年10月30日	平成30年10月30日 ~令和元年7月1日	30,132,000	河災41号(高知川) 復旧延長 L=40.0m(右岸L=40.0m) 護岸工 練ブロック積工 L=38.8m SL=4.7m A=181m ² 小口止工 N=1箇所 排水工 縦溝工 N=1箇所 縦排水路 L=3.4m 雑工 すり付け工 N=1箇所 砂災43号(月尾谷) 復旧延長 L=5.0m(左岸L=5.0m) 護岸工 練石積工 L=4.4m SL=3.2m A=14m ² 小口止工 N=2箇所 雑工(練石積工) N=2箇所	—	(当初)
						令和元年6月17日	平成30年10月30日 ~令和元年7月1日	26,636,040	河災41号(高知川) 復旧延長 L=40.0m(右岸L=40.0m) 護岸工 練ブロック積工 L=38.8m SL=4.7m A=181m ² 小口止工 N=1箇所 排水工 縦溝工 N=1箇所 縦排水路 L=3.4m 雑工 すり付け工 N=1箇所 砂災43号(月尾谷) 復旧延長 L=5.0m(左岸L=5.0m) 護岸工 練石積工 L=4.4m SL=3.2m A=14m ² 小口止工 N=2箇所	工事用道路材料や大型土のうち詰材は、購入土の使用を予定していたが、他工事からの流用が可能となったため、流用土へ変更したい。	1回目
第維委災防43-042-B1-S3号	公共 防災・安全交付金(災害防除)他 落石対策測量設計業務	一般国道303号 他 揖斐郡 揖斐川町 檜原 他 地内	道路	(株)テイコク	岐阜県岐阜市橋本町2-8	平成30年11月1日	平成30年11月1日~ 平成31年3月20日	15,934,665	落石対策測量設計業務 測量業務 現地測量 A=0.0649km ² 路線測量 L=0.37km 用地測量 A=0.0564km ² 設計業務 浮石・転石調査 N=2箇所	—	(当初)
						平成30年12月27日	平成30年11月1日~ 平成31年3月20日	15,087,600	落石対策測量設計業務 測量業務 現地測量 A=0.0585km ² 路線測量 L=0.17km 用地測量 A=0.0564km ² 設計業務 浮石・転石調査 N=2箇所	(1)イ 他事業との関連による場合 ・C254A291工区について、他事業により測量した成果が存在することが判明したことから、重複する範囲の測量作業を中止することとした。	1回目
						平成31年3月22日	平成30年11月1日~ 令和元年9月25日	15,894,360	落石対策測量設計業務 測量業務 現地測量 A=0.0585km ² 路線測量 L=0.17km 用地測量 A=0.0564km ² 設計業務 浮石・転石調査 N=2箇所	(1)オ 用地条件や地元との協議に基づく場合 ・C303A706工区について、測量業務実施にあたり、久瀬振興事務所経由で、地元区長に、業務内容の説明及び現地立ち入りをお願いをしたところ、立ち入りについては難色を示していたが、その後も粘り強く交渉を続けたところ、概ね内諾を得ることができ、業務再開の目途はあったものの、この間不測の日数を生じたことから、契約期間を下記のとおり変更したい。 (変更前) 平成30年11月1日 ~ 平成31年3月29日 (変更後) 平成30年11月1日 ~ 平成31年9月25日 ・C254A291工区について、用地測量のうち、権利者確認調査及び土地の登記記録調査を追加することとした。	3回目
令和元年9月3日	平成30年11月1日~ 令和元年12月20日	18,548,660	落石対策測量設計業務 測量業務 現地測量 A=0.0585km ² 路線測量 L=0.17km 用地測量 A=0.0583km ² 設計業務 浮石・転石調査 N=2箇所	(1)ア 自然現象、その他不可抗力による場合 ・落石の発生したC040A268工区について、別業務による概略調査の結果、地上高70m付近に、大量に土石が堆積し不安定化していることが判明した。これらは一斉に落下する恐れがあり緊急を要することから、この発生源を特定するため、クラッキング調査を実施することとした。 ・また、上記作業の追加に伴い、工期を次のとおり変更したい。 (変更前) 平成30年11月1日 ~ 令和元年 9月25日 (変更後) 平成30年11月1日 ~ 令和元年12月20日	4回目						
第砂工通砂3-1号	公共 防災・安全交付金(通常砂防事業)(翌償)	普通河川 井振谷 揖斐郡 池田町 片山地内	土木一式	(株)久保田工務店	岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪521-1	平成30年12月7日	平成30年12月7日~ 令和元年8月8日	32,940,000	付替林道工 施工延長L=235.6m W=2.80m 切土工 V=1,950m ² コンクリート吹付工 A= 298m ² 植生工 A=1,550m ²	—	(当初)
第砂工通砂3-1号	公共 防災・安全交付金(通常砂防事業)(翌償)	普通河川 井振谷 揖斐郡 池田町 片山地内	土木一式	(株)久保田工務店	岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪521-1	令和元年7月25日	平成30年12月7日~ 令和元年8月8日	29,473,200	付替林道工 施工延長L=224.2m W=2.80m 切土工 V=1,930m ² コンクリート吹付工 A= 298m ² 植生工 A=1,140m ²	付替林道の土工事において、軟弱地盤のためダンプトラックによる運搬が困難なため、キャリアダンプによる運搬とし、積み替えて搬出したい。	1回目

第維工交安 43-A058-1号 他	公共 交通安全施設等 整備事業(交付金事業 分)他 歩道整備事業	一般国道 417号 他 揖斐郡 池田町 粕ヶ 原 他 地内	土木一式	第一建設(株)	岐阜県揖斐郡池田町 段29-3	平成30年11月27日	平成30年11月27日 ~平成31年3月20日	14,364,000	<p>施工延長 L=66.3m W=5.5(9.0)m (第1工区) 舗装工 歩道舗装(再生砕石30~0) A=103m2 乗入舗装(再生密粒度As) A=10m2 排水構造物工 可変側溝 L=61.3m 付属施設工 仮設防護柵工 N=1式 区画線工 N=1式</p>	-	(当初)
						平成31年3月22日	平成30年11月27日 ~令和元年6月28日	15,799,320	<p>施工延長 L=66.3m W=5.5(9.0)m (第1工区) 舗装工 歩道路盤(再生砕石30~0) A=103m2 乗入舗装(再生密粒度As) A=10m2 車道舗装工 A=14m2 排水構造物工 可変側溝 L=61.3m PU3 B300-H300 L=30.0m 付属施設工 仮設防護柵工 N=1式 区画線工 N=1式</p>	<p>(2)オ 建設廃材及び建設発生土の数量、処理方法、処理場の変更等による場合 ・空石積撤去工において、当初は撤去した石積は建設発生土として処分する予定としていたが、現地調査の結果、玉石にモルタルが付着しているため予定地での処分が不可能となった。そのため、コンクリート殻として処分したい。</p> <p>(2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・現地精査の結果、No.1(R)付近の盛土施工により排水暗渠を防ぐことが判明した。そのため西側の側溝を流れる排水の流末を確保するためPU3側溝を敷設する。</p> <p>上記作業の追加に伴い、工期を下記のとおり変更したい。 (変更前) 平成30年11月27日 ~ 平成31年3月27日 (変更後) 平成30年11月27日 ~ 平成31年6月28日</p>	2回目
						令和元年7月22日	平成30年11月27日 ~令和元年7月31日	15,559,560	<p>施工延長 L=160.0m W=5.5(9.0)m (第1工区) 舗装工 歩道路盤(再生砕石30~0) A=103m2 乗入舗装(再生密粒度As) A= 0m2 車道舗装工 A=356m2 排水構造物工 可変側溝 L=61.3m PU3 B300-H300 L=0m 付属施設工 仮設防護柵工 N=1式</p>	<p>(1)イ 他事業との関連による場合 ・置き基礎式ガードレールについては、当初は新設による設置を予定していたが工事発注後に他事業から発生した製品を一部再利用できることが判明したため製品の購入を一部減じたい。</p> <p>(2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・No.0付近の既設床板付近の歩道部を掘削したところ、既設の橋梁部と床板とに隙間が生じていることが判明したため、埋設型ジョイントを施工して隙間を解消したい。</p> <p>(2)オ 建設廃材及び建設発生土の数量、処理方法、処理場の変更等による場合 ・建設廃材については、現地掘削の結果、当初予定数量と差異が生じたため実績に合わせ変更を行いたい。</p>	4回目
第建工街路10 -1号	県単 街路事業(債務) 道路改良工事	都市計画道路 大野揖 斐川線 揖斐郡 揖斐 川町 三輪地内	土木一式	西濃建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川 町上ミ野128	平成30年12月21日	平成30年12月21日 ~令和元年9月26日	41,040,000	<p>施工延長L=306.3m 幅員W=8.0(18.0)m 舗装工 車道舗装工 A=777m2 擁壁工 プレキャストL型擁壁 N=1式(L=86m) 防護柵工 ガードパイプ L=227m</p>	-	(当初)
						令和元年8月6日	平成30年12月21日 ~令和元年9月26日	44,384,760	<p>施工延長L=321.5m 幅員W=8.0(18.0)m 舗装工 車道舗装工 A=1020m2 擁壁工 プレキャストL型擁壁 N=1式(L=86m) 防護柵工 ガードパイプ L=250m</p>	<p>○当該箇所供用開始に伴い、県道と町道との取付道路より外のスペース(将来的な都市計画道路敷)について、揖斐川町及び地元から雑草対策に配慮してもらいたいとの要望があったため、取付道路外舗装を増工したい。 ○下岡島地内の道路拡幅事業(和田工区)において、買収済用地の適切な維持管理のため、舗装工を増工したい。</p>	1回目

第維工道災 385号	公共 道路災害復旧事 業(債務)	一般国道303号 揖 斐郡 揖斐川町 坂内 坂本地内	土木一式	(株)久保田工務店	岐阜県揖斐郡揖斐川 町三輪521-1	平成30年12月11日	平成30年12月11日 ~令和元年5月24日	10,562,400	復旧延長 L=30.0m W=5.5(6.5)m 掘削工 V=130m ³ 簡易吹付法砕工 A=200m ² 落石防護柵復旧工 L=30m	—	(当初)
						平成31年4月8日	平成30年12月11日 ~令和元年5月24日	10,650,960	復旧延長 L=30.0m W=5.5(6.5)m 掘削工 V=110m ³ 簡易吹付法砕工 A=229m ² 落石防護柵復旧工 L=30m	(2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・起工測量の結果、当初設計と差異が生じたため、現況に 合わせ土量を変更したい。また、法面保護工については、立 木を撤去後の法面に合わせ、吹付工の割り付け面積を変更 したい。 ・仮設防護柵(ガードワン)については、現況道路の幅員が 狭く、作業ヤードが確保できないため不施工としたい。	1回目
第維工道災 386号	公共 道路災害復旧事 業(債務)	主要地方道 山東本巢 線 揖斐郡 揖斐川 町 外津汲地内	土木一式	揖斐昭和建设(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川 町上南方1896-1	平成30年12月11日	平成30年12月11日 ~平成31年4月24日	6,318,000	復旧延長 L=7.3m W=3.8(4.85)m 土工 V=40m ³ 吹付砕工(F300 2000×2000) A=76m ² 雑工(ポケット式落石防護柵) A=90m ²	—	(当初)
						平成31年4月15日	平成30年12月11日 ~平成31年4月24日	5,811,480	復旧延長 L=6.4m W=3.8(4.85)m 土工 V=26m ³ 吹付砕工(F300 2000×2000) A=66m ² 雑工(ポケット式落石防護柵) A=90m ² すりつけ工(コンクリート吹付) A=32m ²	(2)ウ 土質・地質の確認に基づく場合 ・表土を除去したところ、起点付近に堅固な岩盤が露出した ことから、施工範囲の一部を不施工としたい。また、終点付 近においても表土除去の結果、当初想定と異なる地質であ ることが判明したことから施工範囲の一部について工法を変 更することとしたい。 (2)オ 建設廃材及び建設発生土の数量、処理方法、処理 場の変更等による場合 ・当初予定していた残土処理場について、受け入れが不可 能になったことから残土処理場を変更することとしたい。 (2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・法面調査の結果、撤去再設置対象のロープ金網の規格が 仕様と異なっていることが判明したことから、現況規格にて 施工することとしたい。	1回目
第建工道改3 -4-1号	県単 道路新設改良 (債務) 道路改良工事	一般県道 神原西津汲 線 揖斐郡 揖斐川町 東津汲地内	土木一式	揖斐昭和建设(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川 町上南方1896-1	平成31年1月11日	平成31年3月1日~令 和元年10月1日	18,522,000	道路改良 L=20m W=4.3~5.1m 土工 掘削工 N=1.0式 法面工 コンクリート吹付工(t=15*) A=149* 地山補強土工(D19・L=3.0m)N=70本	—	(当初)
						令和元年8月29日	平成31年3月1日~令 和元年10月1日	18,766,080	道路改良 L=20m W=4.3~5.1m 土工 掘削工 N=1.0式 法面工 コンクリート吹付工(t=15*) A=149* 地山補強土工(D19・L=3.0m)N=70本	○既設コンクリート吹付と整合のため、新設コンクリート吹付 工を既設吹付へ振り付ける計画 だったが既設吹付面にコケ等が付着しており新設吹付が既 設吹付に馴染まないため、法面清掃 103m ² を増工しコケ等を除去したい。 ○地山補強土工(アンカー工法)にて地山削工を実施したと ころ、当初計画していた岩質より 良好で破砕帯等が無い岩盤層を確認することができた。こ のため削孔壁が自立することから 二重管方式の70本内20本を単管方式に変更としたい。ま た、単管方式を採用することで 無足場削孔がクローラ式ボーリングマシンによる削孔が可 能となったため、クローラ式ボーリング マシンによる削孔20本に増工したい。 ○今回の斜面掘削により視距が改良されたため、前後区間 を含めカーブの形状に合わせた交通安全施設の設置が必要 となった。このためカーブミラー1基(既存撤去一新設)、 線形誘導標10枚 (新設)を増工したい。	1回目

第維工48-030-1号	公共 橋りょう補修費工事・県単 橋りょう維持修繕指定修繕工事(債務)飛鳥川橋工事	一般国道303号揖斐郡 揖斐川町 北方 地内	と土工	(株)東亜製作所 岐阜支店	岐阜県羽島郡岐南町 平成5-29	平成31年2月15日	平成31年2月15日～令和元年11月11日	44,820,000	飛鳥川橋 鋼単純上路トラス橋 L=55.8m W=6.0m 橋梁用防護柵取替工 L=111.2m(L側 55.6m R側 55.6m) 伸縮装置取替工 L=12.5m(A1橋台 6.0m A2橋台 6.5m) 断面修復工 V=0.27m3 支承部水掛かり対策工 1式 足場工 1式	—	(当初)
						令和元年11月1日	平成31年2月15日～令和元年11月11日	49,220,000	飛鳥川橋 鋼単純上路トラス橋 L=55.8m W=6.0m 橋梁用防護柵取替工 L=111.2m(L側 55.6m R側 55.6m) 伸縮装置取替工 L=12.5m(A1橋台 6.0m A2橋台 6.5m) 断面修復工 V=0.32m3 支承部水掛かり対策工 1式 親柱補修工 1式 足場工 1式	(2)ク ・起工測量の結果、設計時より地覆・床版並びに橋台の断面補修範囲が増加していたため増工したい。また、親柱についても補修が必要なことが判明したため増工したい。 ・増工に伴い通行規制日数が増加することから、交通誘導員を増額したい。	1回目
第砂工緊土補3号	県単 緊急土石流対策砂防事業(暮らしの安全・安心確保対策)	普通河川 大谷 揖斐郡 池田町 願成寺 地内	土木一式	第一建設(株)	岐阜県揖斐郡池田町 段29-3	平成30年12月25日	平成30年12月25日～平成31年3月22日	14,936,346	除石工 大谷工区 V=4,800m3	—	(当初)
						令和元年6月6日	平成30年12月25日～令和元年6月20日	16,378,200	除石工 大谷工区 V=4,000m3	ICT活用工事にて施工することとため、除石数量の変更で対応したい。	2回目
第河工河修8・河修補1号	県単 河川維持修繕事業 県単 河川維持修繕事業(暮らしの安全・安心確保対策)	木曾川水系 三水川 揖斐郡 大野町 大字 下磯 他 地内	土木一式	(株)山辰組	岐阜県揖斐郡大野町 大字稲畑203-1	平成30年12月25日	平成30年12月25日～平成31年3月22日	39,117,600	下磯逆水樋門 門柱耐震補強工 N=1式 機側操作盤更新工 N=1式 上屋改築工 N=1式 樋管工 スイングゲート修繕 N=1門	—	(当初)
						令和2年2月12日	平成30年12月25日～令和2年3月19日	39,600,500	下磯逆水樋門 門柱耐震補強工 N=1式 機側操作盤更新工 N=1式 上屋改築工 N=1式 樋管工 スイングゲート修繕 N=4門	河川管理施設点検結果において、次期出水期までに対策を要する施設が存在することが判明したことから、緊急的に修繕作業を追加したい。合わせて工期を延期したい。	5回目
第維工48-039号、第維工48-030-2号	公共 橋りょう補修費工事・県単 橋りょう維持修繕指定修繕工事(債務)	一般県道 神原西津波線・一般国道303号揖斐郡 揖斐川町 小津・北方 他 地内	土木一式	(株)ヤマモト	岐阜県揖斐郡揖斐川町大字三倉133-1	平成30年12月25日	平成30年12月25日～令和元年6月12日	15,660,000	1工区 小津橋 RC単純T桁橋 L=22.06m W=4.5m 橋面防水工 A=100m2 舗装打替工 A=96m2 断面補修工 V=0.3m3 足場工 1式 2工区 飛鳥川橋側道橋 鋼単純箱桁橋 L=55.8m W=2.0m 伸縮装置取替工 L=4.0m 3工区 椿井野橋 鋼ラーメン橋 L=80.4m W=8.5m	—	(当初)
						令和元年6月5日	平成30年12月25日～令和元年6月12日	16,655,760	1工区 小津橋 RC単純T桁橋 L=22.06m W=4.5m 橋面防水工 A=99m2 舗装打替工 A=96m2 断面補修工 V=0.4m3 足場工 1式 2工区 飛鳥川橋側道橋 鋼単純箱桁橋 L=55.8m W=2.0m 伸縮装置取替工 L=4.0m 3工区 椿井野橋 鋼ラーメン橋 L=80.4m W=8.5m	(2)ク ・起工測量の結果、設計時より床版等の断面補修範囲が増加するため、増工し対応したい。橋面舗装厚が想定より薄かったため橋面舗装工を減工したい。	1回目

第Ⅲ工橋修1号	県単 橋りょう維持修繕指定修繕(債務)万代橋工事	主要地方道 山東北条線揖斐郡 揖斐川町 谷波長瀬 地内	と土コ	篠田(株)	岐阜県岐阜市竜田町2-2	平成31年1月18日	平成31年1月18日~令和元年10月14日	45,360,000	万代橋 単純合成版桁橋 L=136.79m W=6.0(7.35)m 橋梁用防護柵取替工 L=275.6m 左側 L=135.3m 右側 L=140.3m 親柱補修工 4箇所 仮設ガードレール工 L=155.0m	—	(当初)
						令和元年10月1日	平成31年1月18日~令和元年10月14日	47,309,200	万代橋 単純合成版桁橋 L=136.79m W=6.0(7.35)m 橋梁用防護柵取替工 L=275.8m 左側 L=135.5m 右側 L=140.3m 親柱補修工 4箇所 仮設ガードレール工 L=150.0m	(2)ク ・樹脂アンカー数量について、数量の相違があった為変更したい。 ・交通誘導員について、規制条件で徐行要員の配置が必要となったため、4人配置に変更したい。 ・現場環境改善計画が提出されたことに基づき、2基の快速トイレ換料を計上したい。	1回目
第Ⅲ委Z30-A502-B号	公共 道路新設改良(ゼロ県債)地質調査業務	一般県道 根尾谷大野線揖斐郡 揖斐川町 谷波長瀬 ~ 大野町 稲富 地内	地質調査	東邦地水(株) 岐阜営業所	岐阜県岐阜市鏡島2873番地22	平成30年12月27日	平成30年12月27日~令和元年6月24日	3,596,400	機械ボーリング N=2箇所	—	(当初)
						令和元年5月21日	平成30年12月27日~令和元年6月24日	3,702,240	機械ボーリング N=2箇所	○ボーリング調査位置が確定したことにより、傾斜地足場を平坦足場に変更したい。 ○当初はボーリング調査を20m(10m×2か所)としていたが、安定した地盤が確認できなかったため、せん孔深度を26mに変更したい。	2回目
第Ⅲ工道改3-1-4号	県単 道路新設改良(債務)舗装工事	一般県道 川合垂井線揖斐郡 揖斐川町 春日川合(古屋工区)地内	舗装	加藤建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町春日小宮神1158-1	平成31年1月8日	平成31年1月8日~令和元年7月26日	14,094,000	舗装工 A=1,860m2 ガードレール設置・撤去工 L=92m 区画線工(実線) L=2,572m 区画線工(破線) L=631m	—	(当初)
						令和元年6月17日	平成31年1月8日~令和元年7月26日	15,386,760	舗装工 A=2,038m2 ガードレール設置・撤去工 L=98m 区画線工(実線) L=2,409m 区画線工(破線) L=245m	○施工延長について、現地調査の結果、起点側L=51.3mの舗装が劣化しているため、打替を追加で行いたい。	1回目
第Ⅲ工道改3-13-2号	県単 道路新設改良(債務)道路改良工事	一般県道 根尾谷大野線揖斐郡 大野町 大字稲富地内	土木一式	(株)山辰組	岐阜県揖斐郡大野町大字稲畑203-1	平成31年1月8日	平成31年3月1日~令和元年12月10日	18,576,000	施工延長 L=180m W=5.5(7.5)m 土工 掘削 V=330m3 法面工 防草コンクリート A=283m2 排水構造物工 L型側溝 L=180m 舗装工 表層工 A=1340m2	—	(当初)
						令和2年2月20日	平成31年3月1日~令和2年3月13日	21,269,900	施工延長 L=180m W=5.5(7.5)m 土工 掘削 V=440m3 法面工 防草コンクリート A=279m2 排水構造物工 L型側溝 L=180m 舗装工 表層工 A=1440m2	○県道の交通規制において、当初は信号による片側交互通行にて施工する予定だったが、幅員が狭くカーブで見通しも悪いことから、施工現場の両側に交通誘導員を配置し施工したい。 ○現道部分は切削して復旧することとしていたが、現地精査の結果、現道部分の既設舗装が5cm、路盤が10cmしかない箇所が判明した。舗装構成が不足するため、既設As舗装5cmの範囲において、下層路盤及び上層路盤の増工をしたい。	2回目

第Ⅲ工 崩安9号	県単 崩落決壊防止(暮らしの安全・安心確保対策費)落石対策施設復旧工事	一般県道 根尾谷汲大野線 揖斐郡 揖斐川町 谷汲高科地内	と土古	西建産業(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町 既永1645-1	平成30年12月25日	平成30年12月25日 ~平成31年3月20日	10,314,000	施工延長 L=50m 落石対策施設復旧工 落石防止網撤去工 L=30m SL=10m A=300m2 落石防止網設置工 L=30m SL=10m A=300m2	—	(当初)
						平成31年3月27日	平成30年12月25日 ~令和元年5月31日	11,187,720	施工箇所01 施工延長 L=48.8m 落石対策施設復旧工 落石防止網撤去工 L=30m SL=10m A=300m2 落石防止網設置工 L=30.1m SL=9.8~11.0m A=308m2 施工箇所02 施工延長 L=31m 落石防護工 落石防止網設置工 L=21m SL=10m A=210m2	(1)ア 自然現象、その他不可抗力による場合 ・施工箇所02は、平成30年2月27日に落石があったため、応急対策を施し経過観察としていたが、現地調査を行ったところ、法面上の転石の不安定化が進行していることが判明し、緊急を要するため、落石防護工を追加することとした。 (1)イ 他事業との関連による場合 ・施工箇所01のうち、ポケット式落石防護網の一部の材料については、他事業により調達することとした。 (2)ウ 土質・地質の確認に基づく場合 ・現地調査を行ったところ、地形条件から、当初計画していたアンカーでは設置が不可能であることが判明したため、使用するアンカーの種類を変更することとした。 上記変更に伴い、工期を下記のとおり変更した。 (変更前) 平成30年12月25日 ~ 平成31年3月27日 (変更後) 平成30年12月25日 ~ 平成31年5月31日	2回目
						令和元年5月21日	平成30年12月25日 ~令和元年5月31日	11,261,160	施工箇所01 施工延長 L=48.8m 落石対策施設復旧工 落石防止網撤去工 L=30m SL=10m A=300m2 落石防止網設置工 L=30.1m SL=9.8~11.0m A=308m2 施工箇所02 施工延長 L=41.4m 落石防護工 落石防止網設置工 L=21m SL=10m A=207m2	(2)ウ 土質・地質の確認に基づく場合 ・現地調査を行ったところ、地形条件から、当初計画していたアンカーでは設置が不可能であることが判明したため、使用するアンカーの種類を変更することとした。	3回目
第Ⅲ委 災防43-026-N2-S2号	公共 防災・安全交付金(災害防除)(ゼロ県債) 道路防災点検(履歴点検等)業務	一般国道 417号 他 揖斐郡 揖斐川町 東横山 他 地内	道路	(株)テイコク	岐阜県岐阜市橋本町 2-8	平成30年12月27日	平成30年12月27日 ~令和元年5月25日	6,804,000	道路防災点検(履歴点検等)業務 履歴点検 N=134箇所 安定度再調査 N=2箇所 落石発生箇所調査 N=12箇所	—	(当初)
						令和元年5月13日	平成30年12月27日 ~令和元年9月25日	6,963,840	道路防災点検(履歴点検等)業務 履歴点検 N=133箇所 安定度再調査 N=5箇所 落石発生箇所調査 N=12箇所	(2)エ その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・資料整理の結果、一般国道417号の一部の工区について、横山鶴見バイパス完成に伴う、区間の見直しを行う必要があることが判明したため、防災カルテAなどの修正作業を追加することとした。 また、上記作業の追加に伴い、工期を次のとおり変更した。 (変更前)平成30年12月27日 ~ 令和元年5月25日 (変更後)平成30年12月27日 ~ 令和元年9月25日	2回目
						令和元年9月2日	平成30年12月27日 ~令和元年9月25日	6,860,160	道路防災点検(履歴点検等)業務 履歴点検 N=133箇所 安定度再調査 N=5箇所 落石発生箇所調査 N=4箇所	(2)エ その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・落石が発生したC040A288工区における落石発生箇所調査については、クライミングなどの特殊な資格無しでは登ることができないことから、UAVドローンを活用した調査に変更した。 ・落石発生箇所調査の実績回数が、当初想定数量より下回ったため、減工することとした。	3回目

第建工道改 43-A505-1号	公共 道路新設改良 (ゼロ県債)旧橋撤去工 事	一般国道417号 揖斐 郡揖斐川町東横山～ 西横山 地内	土木一式	西濃・久保田特定建設 工事共同企業体		平成31年2月4日	平成31年2月4日～令 和元年11月30日	178,200,000	新川尻橋撤去工 L=136.65m W=5.5m ランガー橋発破工 N=1式 橋脚発破工 N=1式 橋脚撤去工 コンクリート取壊工 V=687m3 ランガー橋撤去工 RC床版撤去工 V=135m3 鋼材撤去工 W=223t アスファルト舗装撤去工 A=637m2 合成桁撤去工 RC床版撤去工 V=32m3 鋼材撤去工 W=20t アスファルト舗装撤去工 A=113m2	—	(当初)
						令和2年3月17日	平成31年2月4日～令 和2年11月30日	199,328,800	新川尻橋撤去工 L=136.65m W=5.5m ランガー橋発破工 N=1式 橋脚発破工 N=1式 橋脚撤去工 コンクリート取壊工 V=687m3 ランガー橋撤去工 RC床版撤去工 V=123m3 鋼材撤去工 W=223t アスファルト舗装撤去工 A=637m2 合成桁撤去工 RC床版撤去工 V=28m3 鋼材撤去工 W=20t アスファルト舗装撤去工 A=113m2	○現地精査した結果、上部工撤去・床版切断にて切断機が 既設高欄に接触するため 計画位置に設置が出来ないことが判明した為、切断位置を 見直した。 このためランガー橋及び合成桁橋のRC床版切断(クレーン 無)1064mを471mに 減工し、RC床版切断(クレーン使用)を552mに増工した い。 ○切断時に発生する汚水及び汚水回収シートを建設廃棄と 処理する必要がある ため、汚水処理4.05t、シート設置撤去・処分728m2を増 工したい。 ○差戻除去-塗膜廃材処理にて当初は「特定有害銻さい」と して処理を計上していたが、 岐阜県環境生活部廃棄物対策課の指導に基づき「特定有 害汚泥」として処理したく変更 したい。 ○仮設ヤード工・盛土にて、当初河川内の土砂を流用する 計画であったが調査した結果、 泥土(コーン指数130KN/m3)であることが判明した。 このため、河川内の土砂では盛土材として流用することが 困難なため、他の工事から盛土材(流用土)4500m3を搬入 することにしたい。 ○足場設置に伴い、立木が支障になることが判明したため 伐採工20本を増工したい。	2回目
						令和3年2月5日	平成31年2月4日～令 和3年3月10日	202,622,200	新川尻橋撤去工 L=136.65m W=5.5m ランガー橋発破工 N=1式 ランガー橋撤去工 RC床版撤去工 V=123m3 鋼材撤去工 W=223t アスファルト舗装撤去工 A=637m2 合成桁撤去工 RC床版撤去工 V=28m3 鋼材撤去工 W=20t アスファルト舗装撤去工 A=113m2	事業計画の見直しにより橋脚撤去工を減工したい。また、河 川管理者との協議により仮設ヤードの形状等を変更したい。 これに伴い工期を延伸したい。	4回目
第維工前安1 号	県単 崩落決壊防止 (暮らしの安全・安心確 保対策費)他(債務)	一般国道417号 揖 斐郡 揖斐川町 東横 山 他地内	と土コ	西建産業(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川 町既永1645-1	平成31年2月8日	平成31年2月8日～令 和元年12月19日	57,348,000	1工区(東横山 C417A730) 施工延長 L=58.1m W=5.5(6.5)m 法面工 コンクリート吹付工 A=759m2 落石防止工 ポケット式落石防護網工 A=705m2 構造物撤去工 モルタル吹付とりこわし A=571m2 ポケット式落石防護網 A=495m2 2工区(鶴見 C417A027)	—	(当初)
						令和元年12月2日	平成31年2月8日～令 和元年12月19日	59,509,500	1工区(東横山 C417A730) 施工延長 L=58.1m W=5.5(6.5)m 法面工 コンクリート吹付工 A=888m2 落石防止工 ポケット式落石防護網工 A=356m2 構造物撤去工 モルタル吹付とりこわし A=858m2 ポケット式落石防護網 A=690m2 2工区(鶴見 C417A027)	(2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・起工測量に先立って法面清掃の際に、地山と思われた箇 所に既設モルタルが存在することが判明したことから撤去が 必要となったため、撤去数量を増工したい。 (1)カ その他やむを得ない外的条件による場合 ・緊急対応すべき修繕(落石防護欄の修繕、落石・崩土除 去、大型土のう設置、撤去・運搬)を行ったため増工したい。 (2)カ 諸経費調整に基づく場合 ・週休二日制モデル工事を試行し間接工費の補正対象と なったため、増額したい。	3回目

第維用委災防43-047-B4-号	公共 道路災害防除事業 丈量測量及び物件調査業務	(一)川合垂井線 揖斐郡揖斐川町春日川合地内	測量	(株)テイク	岐阜県岐阜市橋本町2-8	平成31年1月31日	平成31年2月7日～平成31年3月22日	3,780,000	用地測量 8,000m2 面積計算 1,100m2 立竹木調査 350m2	—	(当初)
						令和元年7月9日	平成31年2月7日～令和元年9月13日	4,240,080	用地測量 12,500m2 面積計算 1,200m2 立竹木調査 700m2	公共 道路災害防除事業 (一)川合垂井線の計画により丈量測量及び物件調査を行ったところ、業務内容に差異が生じたため、平成31年1月31日付委託契約に基づき変更契約を行う。	3回目
第建工道改30-3-1号	県単 道路新設改良(債務)道路改良工事	主要地方道 岐阜県南大野線揖斐郡 大野町大字麻生地内	土木一式	(株)山辰組	岐阜県揖斐郡大野町大字稲畑203-1	平成31年3月1日	令和1年5月13日～令和2年3月22日	71,658,000	道路土工 掘削工 V=570m3 盛土 V=370m3 地盤改良工 路床安定処理工 A=1500m2 擁壁工 プレキャストL型擁壁 L=175m カルバート工 プレキャストボックス L=53m 排水構造物工 自由勾配側溝 L=185m 舗装工 車道舗装 A=519m2	—	(当初)
						平成31年3月22日	令和1年5月13日～令和2年3月22日	76,539,600	道路土工 掘削工 V=600m3 盛土 V=420m3 地盤改良工 路床安定処理工 A=1500m2 擁壁工 プレキャストL型擁壁 L=188m カルバート工 プレキャストボックス L=53m 排水構造物工 自由勾配側溝 L=185m 舗装工 車道舗装 A=519m2	〇町道NO. -5付近左側L型擁壁を暫定施工し、町道交差点付近の視距確保を行いたい。	1回目
						令和2年3月11日	令和1年5月13日～令和2年3月22日	80,045,300	道路土工 掘削工 V=1160m3 盛土 V=1110m3 地盤改良工 路床安定処理工 A=1957m2 擁壁工 プレキャストL型擁壁 L=175m カルバート工 プレキャストボックス L=32m 排水構造物工 自由勾配側溝 L=185m 舗装工 車道舗装 A=1240m2	〇12号横断暗渠の施工に伴い、既設排水路の撤去及び床掘作業を行ったところ、地下水による地山の浸食が発生し、隣接する道路や水田に影響を及ぼすことが懸念されたため、軽量鋼矢板を用いた仮設土留工を増工したい。また、矢板の打ち込みによって発生する振動が、近隣家屋等へ影響を及ぼす可能性があるため、振動影響調査についても増工したい。	2回目
第維用委災防43-047-B3-S1号	公共 防災・安全交付金(災害防除)用地測量及び物件調査業務	主要地方道 山東本線 揖斐郡揖斐川町外津汲地内	測量	(株)テイク	岐阜県岐阜市橋本町2-8	平成31年2月14日	平成31年2月14日～平成31年3月22日	8,748,000	用地測量 A=25,000m2 面積測量 A=4,300m2 立竹木調査 A=4,300m2	—	(当初)
						令和元年12月17日	平成31年2月14日～令和元年12月17日	6,293,160	用地測量 A=25,000m2 用地測量 A=14,300m2 面積測量 A=4,300m2 面積測量 A=3,400m2 立竹木調査 A=4,300m2 立竹木調査 A=3,400m2	公共 防災・安全交付金(災害防除) 主要地方道山東本線工事の計画により、丈量測量及び物件調査を行ったところ、業務内容に差異が生じたため、令和元年10月25日付変更契約に基づき、再度、変更契約を行う。	4回目
第建工道改30-4-1号	県単 道路新設改良(債務)道路改良工事	一般県道 本庄揖斐川線揖斐郡 揖斐川町清水地内	土木一式	(株)高田組	岐阜県揖斐郡揖斐川町清水157-1	平成31年3月15日	平成31年4月10日～令和2年1月19日	22,356,000	施工延長 L=107.0m(NO. -1+7.0~NO. 5) 本工事 道路土工 路床盛土 V=1,200m3 擁壁工 プレキャストL型擁壁 N=1式(L=115m) 排水構造物工 R1可変側溝 N=1式(L=38m) 附帯工事 排水構造物工 集水樹 N=4箇所	—	(当初)
						令和元年9月17日	平成31年4月10日～令和2年1月19日	21,814,920	施工延長 L=106.7m(NO. -1+7.0~NO. 4+17.0) 本工事 道路土工 路床盛土 V=1,100m3 擁壁工 プレキャストL型擁壁 N=1式(L=115m) 排水構造物工 R1可変側溝 N=1式(L=38m) 附帯工事 排水構造物工 集水樹 N=4箇所	・現場内発生土(耕土)について、当初は残土処理施設にて処分する計画であったが、揖斐川町谷汲振興事務所を通じて地元自治会と調整した結果、耕土を受け入れてもらえることになったため、受入先の変更に伴い減額したい。	2回目

第建工街路9-3号	県単 街路事業(債務) 道路改良工事	(都)大野揖斐川線揖斐郡 大野町 大字相羽 地内	土木一式	白山建設(株)	岐阜県揖斐郡大野町 大字相富983-3	平成31年3月15日	令和1年6月3日~令和2年3月13日	20,152,800	施工延長 L=89.3m W=6.0(9.0)m 道路土工 路体盛土 V=210m3 路床盛土 V=150m3 作業土工 機械床掘 V=310m3 機械埋戻 V=210m3 カルバート工 フレキャストボックス工 L=30m B=1.0m H=1.0m 排水構造物工 土留可変側溝(B400) L=50m 管渠(台付管B450) L=7m 附帯工 農業用ハイライン布設替工 L=42m(φ100)	-	(当初)
						令和元年8月6日	令和1年6月3日~令和2年3月13日	19,591,200	施工延長 L=57.5m W=6.0(9.0)m 道路土工 路体盛土 V=120m3 路床盛土 V=210m3 作業土工 機械床掘 V=260m3 機械埋戻 V=170m3 排水構造物工 土留可変側溝(B400) L=50m 管渠(台付管B450) L=7m 舗装工 表層工 A=1760m2 附帯工 農業用ハイライン布設替工 L=42m(φ100)	○当初予定していたフレキャストカルバート工について、関係機関と施工協議をしたところ、通学路があり施工期間中は横断歩道を使用できないことから、今回は不施工とした。 ○(都)大野揖斐川線、六里地内No35~46+1.0について、表層工を施工し完成断面とした。	1回目
						令和2年2月25日	令和1年6月3日~令和2年3月13日	21,432,600	施工延長 L=57.5m W=6.0(9.0)m 道路土工 路体盛土 V=110m3 路床盛土 V=180m3 作業土工 機械床掘 V=180m3 機械埋戻 V=130m3 排水構造物工 土留可変側溝(B400) L=43m 管渠(台付管B450) L=14m 舗装工 表層工 A=1760m2 附帯工 農業用ハイライン布設替工 L=47m(φ100)	○工事施工範囲内の町道部において、大野町と舗装復旧・安全施設について現地協議を行い、施工内容が決定したことから、舗装工等を増工したい。 ○施工箇所において水道管及び排水横断管を確認するため、試掘工を施工したい。 ○受注者より労務単価等の変動に基づく請負代金額の変更について協議があったので平成31年3月から適用する公共工事設計労務単価等の運用に係る特例措置に基づき増額したい。	3回目
第維委災防43-047-B4-S2号	公共 防災・安全交付金(災害防除)地(セロ県債) 落石対策測量設計業務	一般県道 藤橋池田線 揖斐郡 揖斐川町 西津汲地内	道路	(株)テイコク	岐阜県岐阜市橋本町 2-8	平成31年2月28日	平成31年2月28日~令和元年9月25日	14,280,537	落石対策測量設計業務 測量業務 基準点測量 N=21点 路線測量 L=0.2km 用地測量 A=5.4ha 設計業務 斜面詳細調査 A=3.86ha	-	(当初)
						平成31年3月20日	平成31年2月28日~令和元年9月25日	14,543,280	落石対策測量設計業務 測量業務 基準点測量 N=21点 路線測量 L=0.2km 用地測量 A=5.4ha 設計業務 斜面詳細調査 A=3.86ha	(1)ア 自然現象、その他不可抗力による場合 ・C417A145は、平成30年2月27日に落石があったため、応急対策を施し経過観察としていたが、現地調査を行ったところ、法面上の転石の不安定が進行していることが判明し、緊急を要するため、落石防護工詳細設計を追加することとした。	1回目
						令和元年9月19日	平成31年2月28日~令和元年12月20日	16,852,180	落石対策測量設計業務 測量業務 基準点測量 N=21点 路線測量 L=0.2km 用地測量 A=5.4ha 設計業務 斜面詳細調査 A=3.86ha	(1)ア 自然現象、その他不可抗力による場合 ・落石の発生したC040A268工区について、別業務による概略調査の結果、地上高70m付近に、大量に土石が堆積し不安定化していることが判明した。これらは一斉に落下する恐れがあり緊急を要することから、この発生源を特定するため、クライミング調査を実施することとした。	2回目
第建用委道改Z30-A505-B号	公共 道路新設改良事業(平成31年度0県債) 丈量測量及び物件調査業務	揖斐郡大野町大字下磯地内	測量	(株)イピンク	岐阜県大垣市築捨町 3-102	平成31年2月28日	平成31年2月28日~令和元年7月17日	9,628,102	用地測量 L:300m × W:50m =15,000m2 面積計算 6,000m2 木造建物調査A 200~300m2 1棟 付帯工作物 農家敷地A 1戸 付帯工作物 住宅敷地C 1戸 立竹木調査 500m2	-	(当初)
						令和元年10月25日	平成31年2月28日~令和元年10月31日	11,239,701	用地測量 L:300m × W:50m =9,900m2 面積計算 8,500m2 木造建物調査A 200~300m2 0棟 付帯工作物 農家敷地A 0戸 付帯工作物 住宅敷地C 2戸 立竹木調査 949m2	公共 道路新設改良事業(平成31年度0県債)(主)岐阜県南大野線の執行に必要な丈量測量および物件調査を行ったところ、差異が生じたため。	3回目

第維工43-A350-03号	公共 防災・安全交付金(雪害)乙原除雪機械車庫建設工事(翌償)	一般国道303号 揖斐郡 揖斐川町 乙原地内	建築一式	泉左官住設(株)	岐阜県揖斐郡池田町 本郷1094-6	平成31年3月15日	平成31年3月15日～令和2年1月8日	68,243,148	除雪機械車庫 ・建築工事 N=1式(鉄骨造 延べ床面積480.7m ²) ・電気設備工事 N=1式 ・機械設備工事 N=1式	—	(当初)
						令和2年3月11日	平成31年3月15日～令和2年3月19日	77,211,338	除雪機械車庫 ・建築工事 N=1式(鉄骨造 延べ床面積480.7m ²) ・電気設備工事 N=1式 ・機械設備工事 N=1式	(2)ク ・地質調査を行った結果、一部の箇所において軟弱地盤であることが判明したため、基礎形状を変更したい。また、掘削土を埋戻材として予定していたが、適さないため残土処理を行いたい。	2回目
第維工現施補1号	県単 現道施設整備(一般)(ゼロ県債)	一般国道303号 他 揖斐郡 揖斐川町 坂内坂本 他 地内	塗装	中部ライン(株)	岐阜県瑞穂市稲里大西654-5	平成31年3月12日	平成31年3月12日～令和元年7月9日	4,590,000	道路付属施設工 区画線工(溶融式)L=2230m 区画線工(ペイント式)L=1000m 道路標識工 警戒標識設置工 N=2基 舗装工 薄層カラー舗装工 A=104m ²	—	(当初)
						令和元年6月28日	平成31年3月12日～令和元年7月9日	5,022,000	道路付属施設工 区画線工(溶融式)L=2788m 区画線工(ペイント式)L=1100m 道路標識工 警戒標識設置工(共架式)N=2基 舗装工 薄層カラー舗装工 A=112m ²	(2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・(主)山本東本線において、現地踏査の結果、当初は外側線については施工予定ではなかったが、安全管理上必要と思われるため、追加施工したい。 ・(一)池田神戸線においても、現地精査の結果、施工予定区間内において一部実線が消えている箇所があったため、追加施工したい。 ・(国)303号の警戒標識については、当初基礎式を計画していたが、現地再調査したところ、コンクリート基礎を設置するスペースが無いため、既設ガードレールに共架したい。	1回目
第維工舗補1(H31ゼロ県)号	県単 舗装道補修 他 工事	一般国道417号 揖斐郡 池田町 片山 他 地内	舗装	西建産(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町 腰永1645-1	平成31年3月19日	平成31年3月19日～令和元年7月16日	15,260,400	1工区 施工延長 L=285.0m W=6.5m 切削工(平均切削厚5cm) L=285.0m A=1,850m ² 表層工(再生密粒度AS top20 t=5cm)L=285.0m A=1,850m ² 区画線工 1式 2工区 施工延長 L=56.2m 側溝改修工 L=56.2m	—	(当初)
						令和元年7月9日	平成31年3月19日～令和元年7月16日	15,518,520	1工区 施工延長 L=308.0m W=6.5m 切削工(平均切削厚4.7cm) L=308.0m A=1,970m ² 表層工(再生密粒度AS top20 t=5cm)L=308.0m A=1,970m ² 区画線工 1式 2工区 施工延長 L=56.2m 側溝改修工 L=56.2m	(2)ク ・1工区の起工測量結果に基づき施工延長を増工し、一定区間を完了したい。 ・2工区の起工測量結果、既設側溝の形状に差異があったため、蓋設置工の数量を変更したい。	1回目
第建工道改300-1-1号	県単 道路新設改良(一般)(翌償)(国)303号 坂内川左岸護岸付替工事	一般国道303号 揖斐郡 揖斐川町 坂内坂本	土木一式	(株)久保田工務店	岐阜県揖斐郡揖斐川町 三輪521-1	平成31年3月29日	平成31年3月29日～令和2年3月19日	45,792,000	施工延長 L=92.4m 河川土工 盛土工 V=720m ³ 法覆護岸工 ブロックマット A=800m ² 排水構造物工 縦排水工 N=1箇所 取付工 ブロックマット A=51m ² 仮設工 工事用道路工 N=1式(L=149.9m) 仮締切工 N=1式(L=77.5m)	—	(当初)
						令和2年2月26日	平成31年3月29日～令和2年3月19日	48,630,000	施工延長 L=92.4m 河川土工 盛土工 V=720m ³ 法覆護岸工 ブロックマット A=842m ² 排水構造物工 縦排水工 N=1箇所 取付工 ブロックマット A=49m ² 仮設工 工事用道路工 N=1式(L=186.0m) 仮締切工 N=1式(L=70.0m)	○護岸工の床掘の結果、設計で想定していた推定岩盤線が現地で確認できなかったため、岩層基礎から土砂基礎への変更と、これによる護岸工(ブロックマット)の施工面積を増工したい。 ○本工事に支障となる補償立本の調査が過年度に未実施であったことから、本工事にて実施するとともに、伐採工を増工したい。	1回目

第維工48-A206-03-5号 第維工48-047-03L号	公共 道路維持修繕費(交付金事業分)名倉トンネル照明灯更新工事(国補正分)	一般国道303号揖斐郡 揖斐川町 西津汲地内	電気	末永電気(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺字松原116-3	平成31年3月29日	平成31年3月29日~令和元年12月23日	34,668,000	名倉トンネル L=286.0m W=6.5(8.5)m 照明灯設備更新工事 受配電設備 照明灯分電盤 N=1面 自動調光装置 N=1組 トンネル照明設備 LED照明器具 基本照明 N=11灯 入口照明 N=36灯 接続道路照明設備 坑外灯更新 LED照明器具 N=3灯	-	(当初)
						令和元年9月17日	平成31年3月29日~令和元年12月23日	34,388,280	名倉トンネル L=286.0m W=6.5(8.5)m 照明灯設備更新工事 受配電設備 照明灯分電盤 N=1面 自動調光装置 N=1組 トンネル照明設備 LED照明器具 基本照明 N=11灯 入口照明 N=36灯 接続道路照明設備 坑外灯更新 LED照明器具 N=3灯	(2)ク ・当初、LEDに交換した坑外灯への配線の接続は既設地中埋設管を利用する予定であったが、配線撤去時に管が腐食し配線の交換が困難であることが判明したことから、新たに屋外露出配管を増工し、坑外灯への電力ルートを確保したい。 ・交通誘導員の配置人数に関して減工協議が提出されたことから、協議書のとおり減額したい。	1回目
第維工道災387号	公共 道路災害復旧事業 他(翌償)	主要地方道 山東本巢線 揖斐郡 揖斐川町 西津汲地内	土木一式	(株)ヤマモト	岐阜県揖斐郡揖斐川町大字三倉133-1	平成31年3月29日	令和1年5月8日~令和2年1月7日	34,776,000	施工延長 L=24.0m W=4.0(5.0)m 土工 V=40m3 簡易吹付枠工 L=19.4m A=366m2 高エネルギー吸収落石防護網復旧工 L=24.0m SL=18.0m A=393m2 仮設工 切土防護柵工(撤去) L=18m 応急処理工 N=1式	-	(当初)
						令和2年3月9日	令和1年5月8日~令和2年3月27日	38,003,400	施工延長 L=24.0m W=4.0(5.0)m 土工 V=40m3 簡易吹付枠工 L=19.4m A=376m2 高エネルギー吸収落石防護網復旧工 L=24.0m SL=18.0m A=398m2 仮設工 切土防護柵工(撤去) L=18m 応急処理工 N=1式 土工 残土処理工 N=1式	(2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・起工測量の結果、地山の一部が張り出しており、索道のワイヤーが設置できなかったため、スイングヤードと仮設盛土に工法を変更した。 (1)イ 他事業との関連による場合 ・残土処理処分について、揖斐川町より当現場の現場発生土を流用したいとの申し出があったため、運搬先を変更した。 (2)ク その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・崩土除去後、既設舗装等の施設を確認した結果、破損が著しく供用が困難な状態であったため、舗装復旧等を行った。 (2)ア 推定岩盤線の確認に基づく場合 ・法面清掃後、高エネルギー落石防護網の支柱建込箇所 の岩盤調査をした結果、岩盤と想定していたものが土砂であったため、支柱基礎を変更した。	3回目
第建工道改300-1-2号	県単 道路新設改良(一般)(翌償)(仮称)鉄嶺トンネル残土運搬処理工事	揖斐郡揖斐川町西津汲	土木一式	(株)ヤマモト	岐阜県揖斐郡揖斐川町大字三倉133-1	平成31年3月29日	平成31年3月29日~令和2年3月19日	18,468,000	国道303号 西横山バイパス(仮称)鉄嶺トンネル 残土運搬処理工 V=3,000m3	-	(当初)
						平成31年3月29日	平成31年3月29日~令和2年3月19日	21,969,360	国道303号 西横山バイパス(仮称)鉄嶺トンネル 残土運搬処理工 V=3,760m3	○建設残土の有効活用のため、(都)大野揖斐川線(三輪工区)等への残土運搬を増工したい。	1回目
						令和元年10月31日	平成31年3月29日~令和2年3月19日	23,735,960	国道303号 西横山バイパス(仮称)鉄嶺トンネル 残土運搬処理工 V=3,946m3	○建設残土の有効活用のため、(一)本庄揖斐川線(清水交差点工区)等への残土運搬を増工したい。	2回目

第維工災防 43-042-K5-1 号	公共 防災・安全交付 金(災害防除)(国補正 分)他(翌償)	一般国道 417号他 揖斐郡 揖斐川町 東 横山他地内	と土こ	西濃建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川 町上ミ野128	平成31年3月29日	平成31年3月29日～ 令和2年2月6日	65,664,000	施工箇所01 施工延長 L=57.6m 落石防護工 高エネルギー吸収落石防護柵工 L=23.8m H=3.0~3.5 m A=73m ² 落石防護柵嵩上工 L=36.0m H=2.0~2.5m A=80m ² 落石予防工 ロープ伏工 N=2箇所 L=6.0m SL=2.0m A=12m ² 施工箇所02 施工延長 L=47.8m 落石防護工 高エネルギー吸収落石防護柵工 L=35.0m SL=15.0m A=511m ²	—	(当初)
						令和2年1月20日	平成31年3月29日～ 令和2年2月6日	71,264,100	施工箇所01 施工延長 L=57.6m 落石防護工 高エネルギー吸収落石防護柵工 L=23.8m H=3.0~3.5 m A=73 落石防護柵嵩上工 L=35.8m H=2.0~2.5m A=79m ² 落石予防工 ロープ伏工 N=2箇所 L=6.0m SL=2.0m A=12m ² 施工箇所02 施工延長 L=47.8m 落石防護工 高エネルギー吸収落石防護柵工 L=35.0m SL=15.0m A=511m ²	(2)ア 推定岩盤線の確認に基づく場合 ・高エネルギー吸収落石防護柵の支柱建込箇所の試掘を行 った結果、岩盤線が推定位置より深い場所にあり、支柱 長さを変更する必要があるため増工したい。 (2)カ 諸経費調整に基づく場合 ・週休二日制モデル工事を試行し間接工費の補正対象と なったため、増額したい。 (1)カ その他やむを得ない外的条件による場合 ・緊急対応すべき修繕(落石防護柵の修繕)を行ったため増 額したい。	3回目
第維工崩安2 号	県単 崩落決壊防止 (暮らしの安全・安心確 保対策費)他(翌償)	一般県道 川合垂井線 揖斐郡 揖斐川町 春 日川合地内	土木一式	(株)野原組	岐阜県揖斐郡揖斐川 町春日六合1248-1	平成31年3月29日	令和1年6月17日～ 令和2年1月17日	25,023,600	施工延長 L=50.0m 落石防護工 土中建込式落石防護柵工 L=50.0m H=3.5~5.0m A= 210m ²	—	(当初)
						令和2年1月8日	令和1年6月17日～ 令和2年1月17日	25,143,500	施工延長 L=50.0m 落石防護工 土中建込式落石防護柵工 L=50.0m H=3.5~5.0m A= 210m ² 区画線工 L=121m	(2)ア 推定岩盤線の確認に基づく場合 ・ルーフフェンスの支柱建込箇所の試掘を行った結果、岩盤 線が想定位置より深い場所にあり、支柱長さを変更する必 要があるため増額したい。 (2)カ 諸経費調整に基づく場合 ・週休二日制モデル工事を試行し間接工費の補正対象と なったため、増額したい。	2回目
第維工48- 021号	公共 橋りょう補修費 (交付金事業分)新香 六橋 工事(国補正分)	主要地方道 春日揖斐 川線揖斐郡 揖斐川町 春日香六 地内	土木一式	加藤建設(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川 町春日小宮神1158- 1	平成31年3月29日	平成31年3月29日～ 令和元年9月14日	17,820,000	新香六橋 L=76.000m W=7.0(7.6)m 伸縮装置補修工(埋設ジョイント) L=23.500m 舗装工 A=75.0m ² 防水工 A=13.0m ²	—	(当初)
						令和元年7月25日	平成31年3月29日～ 令和元年9月14日	16,744,320	新香六橋 L=76.000m W=7.0(7.6)m 伸縮装置補修工(埋設ジョイント) L=24.000m 舗装工 A=75.0m ² 防水工 A=12.0m ²	(2) ク・既設伸縮装置撤去を実施したところ、縦目地部の伸縮装 置延長に差異があったため、既設伸縮装置撤去延長を変更 したい。 オ・既設伸縮装置撤去重量に基づきスクラップ処分量を変 更したい。	1回目
第維工48- 021-2号	公共 橋りょう補修費 (交付金事業分)広海 橋 工事(国補正分)	主要地方道 岐阜関ヶ 原線 揖斐郡 池田町 八幡 地内	舗装	第一建設(株)	岐阜県揖斐郡池田町 段29-3	平成31年3月29日	平成31年3月29日～ 令和元年7月16日	10,584,000	広海橋(下り線)(3径間連続桁橋) L=83.000m W=6.5(7.25)m 舗装・防水工 t=8.0cm A=599m ² 区画線工 1式	—	(当初)
						令和元年7月1日	平成31年3月29日～ 令和元年7月16日	10,412,280	広海橋(上り線)(3径間連続桁橋) L=83.000m W=6.5(7.25)m 舗装・防水工 t=5.9cm A=594m ² 区画線工 1式	(2)ク ・起工測量に基づき、舗装面積を変更したい。 ・既設舗装厚を確認したところ、59mmであることを確認し した。また、既設防水についてはシート防水が確認できたこ とから、切削・舗装計画を変更したい。 オ・AS切削屑と混合廃棄物の処分量に基づき、変更した い。	1回目

第維工48-021-1号 第維工48-011号	公共橋りょう補修費(交付金事業分)板追橋・新城山橋 工事(国補正分)	主要地方道 山東北果線 他揖斐郡 揖斐川町 西津波 他 地内	土木一式	山本商事(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町乙原525	平成31年3月29日	平成31年3月29日～令和元年10月14日	23,760,000	1工区 板追橋(単純活荷重合成飯桁)L=40.000m W=6.0(7.0)m 法面保護工 間詰モルタル V=0.1m3 現場発泡ウレタン V=3.5m3 モルタル吹付工 A=21.0m2 排水管補修工(VPφ120)L=48.0m 支承補修工(ナット増し締め工)N=3本 防護柵補修工 1式 仮設工(足場工)1式 2工区 新城山橋(合成単純鋼飯桁橋)L=73.500m W=7.0(8.5)m 舗装・防水工 t=5cm A=522m2	—	(当初)
						令和元年9月4日	平成31年3月29日～令和元年9月20日	24,081,840	1工区 板追橋(単純活荷重合成飯桁)L=40.000m W=6.0(7.0)m 法面保護工 間詰モルタル V=0.2m3 現場発泡ウレタン V=0.8m3 モルタル吹付工 A=21.0m2 排水管補修工(VPφ120)L=48.0m 支承補修工(ナット増し締め工・破断補修工)N=3本 防護柵補修工 0式 仮設工(足場工)1式 2工区 新城山橋(合成単純鋼飯桁橋)L=73.500m W=7.0(8.5)m 舗装・防水工 t=5.5cm A=522m2	(2)ク 1工区・起工測量の結果、防護柵の腐食箇所が増加していることが判明した。別途の対策を検討するため、本工事での補修工を減工したい。 ・支承ボルトを締めなおす際に、1箇所ボルトが破断していたことから、ボルトの補修工事を追加したい。 2工区・橋面舗装工の施工時に配置する排水導入管の流末である排水側に接続孔が無かったことから、孔明工を増工したい。また、工種の追加と施工日数の見直しにより、交通誘導警備員を増員したい。	1回目
第維委崩落補S1号	県単 崩落決壊防止(一般)(ゼロ県債)現場技術業務	一般国道417号他 揖斐郡 揖斐川町 榎原他地内	道路	(株)テイコク	岐阜県岐阜市橋本町2-8	平成31年3月29日	平成31年3月29日～令和2年1月31日	10,584,000	現場技術業務委託 設計及び現場技術業務 N=1式(200日)	—	(当初)
						令和元年12月17日	平成31年3月29日～令和2年3月10日	11,724,700	現場技術業務委託 設計及び現場技術業務 N=1式(212日)	(2)エ その他確認困難な要因、誤測等やむを得ない場合 ・11月までの勤務実績より、超過勤務および車両使用日数が下回る見込みのため実績に基づき変更したい。	1回目
						令和2年3月4日	平成31年3月29日～令和2年3月10日	11,823,700	現場技術業務委託 設計及び現場技術業務 N=1式(212日) 斜面緊急点検準備データ作成業務 N=1式	(1)イ 他事業との関連による場合 ・(国)417号公共道路災害復旧事業(榎原地すべりH29その8工事)における現場確認業務が今後集中するため、業務期間を変更したい。 当初工期 平成31年3月29日 ~ 令和2年1月31日 変更工期 平成31年3月29日 ~ 令和2年3月10日	2回目
第砂工通砂3-1-3号	公共 防災・安全交付金(通常砂防事業)(国補正分)(翌償)	普通河川 井振谷 揖斐郡 池田町 片山地内	土木一式	(株)久保田工務店	岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪521-1	平成31年3月29日	令和1年6月5日～令和2年3月20日	48,400,923	井振谷 掘削工 V=1.790m3 本堤工 H=0.0m L=31.7m V=775m3	—	(当初)
						平成31年3月29日	令和1年6月5日～令和2年3月20日	53,040,960	井振谷 掘削工 V=1.790m3 本堤工 H=0.0m L=31.7m V=775m3	残土受け入れ先との協議により、受け入れ時期の調整が必要のため、一時仮置きした上で処分することとしたい。	1回目
						令和元年10月1日	令和1年6月5日～令和2年3月20日	57,341,960	井振谷 掘削工 V=1.790m3 本堤工 H=0.0m L=31.7m V=936m3	建設廃材の処分量について、実績数量の基づき変更し、適正に処分したい。	2回目

第砂工通砂3-2号	公共 防災・安全交付金(通常砂防事業)(国補正分)(翌償)	北洞谷 揖斐郡 揖斐川町 谷汲深坂	土木一式	所産業(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲長瀬字岡田1821-3	平成31年3月29日	令和1年6月26日~令和2年2月25日	35,023,093	北洞谷本堤工 H=0.0m, L=34.0m, V=726m3	—	(当初)
						平成31年3月29日	令和1年6月26日~令和2年2月25日	41,699,880	北洞谷本堤工 H=0.0m, L=34.0m, V=903m3	早期に切土法面の安定を図るため、右岸中間部の打設高を上げて、軸部の埋め戻し・盛土が行えるようにしたい。	1回目
						令和元年9月24日	令和1年6月26日~令和2年3月23日	41,158,800	北洞谷本堤工 H=0.0m, L=37.2m, V=750m3	先行工事において、本堤工のコンクリート量が増工したため、本事業の本堤工のコンクリート工を変更したい。	2回目
第河工総流防12号	公共 総合流域防災事業(国補正分)(翌償)	木曾川水系 杭瀬川 揖斐郡 池田町 片山 地内	土木一式	(株)河村総建	岐阜県揖斐郡池田町 田畑699-3	平成31年3月29日	令和1年5月10日~令和元年11月15日	15,317,748	施工延長 L=100m 河道掘削工 L=100m V=460m3	—	(当初)
						平成31年3月29日	令和1年5月10日~令和元年11月15日	16,584,480	施工延長 L=110m 河道掘削工 L=110m V=500m3	事業推進のため本工事を増工し、治水効果を早期に発現させたい。	1回目
						令和元年12月20日	令和1年5月10日~令和2年2月28日	16,684,580	施工延長 L=219m 河道掘削工 L=219m V=480m3	草の繁茂が著しく、本工事施工に支障となるため、刈草の運搬処分を計上したい。 現地試掘の結果、当初計画位置よりも上方に既設構造物が存在したため、掘削範囲を減じたい。	3回目
第河工総流防13号	公共 総合流域防災事業(国補正分)(翌償)	木曾川水系 粕川 揖斐郡 揖斐川町 黒田 地内	土木一式	揖斐土木建築工業(株)	岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪438-4	平成31年3月29日	令和1年6月26日~令和元年12月22日	17,010,000	施工延長 L=200m 河道掘削工 L=200m V=6,600m3	—	(当初)
						平成31年3月29日	令和1年6月26日~令和元年12月22日	18,416,160	施工延長 L=220m 河道掘削工 L=220m V=7,300m3	事業推進のため本工事を増工し、治水効果を早期に発現させたい。	1回目
						令和元年12月17日	令和1年6月26日~令和2年1月10日	18,708,760	施工延長 L=300m 河道掘削工 L=300m V=2,200m3	掘削土の状況から、残土処分先を変更し、これに伴い掘削土量も変更したい。	2回目